

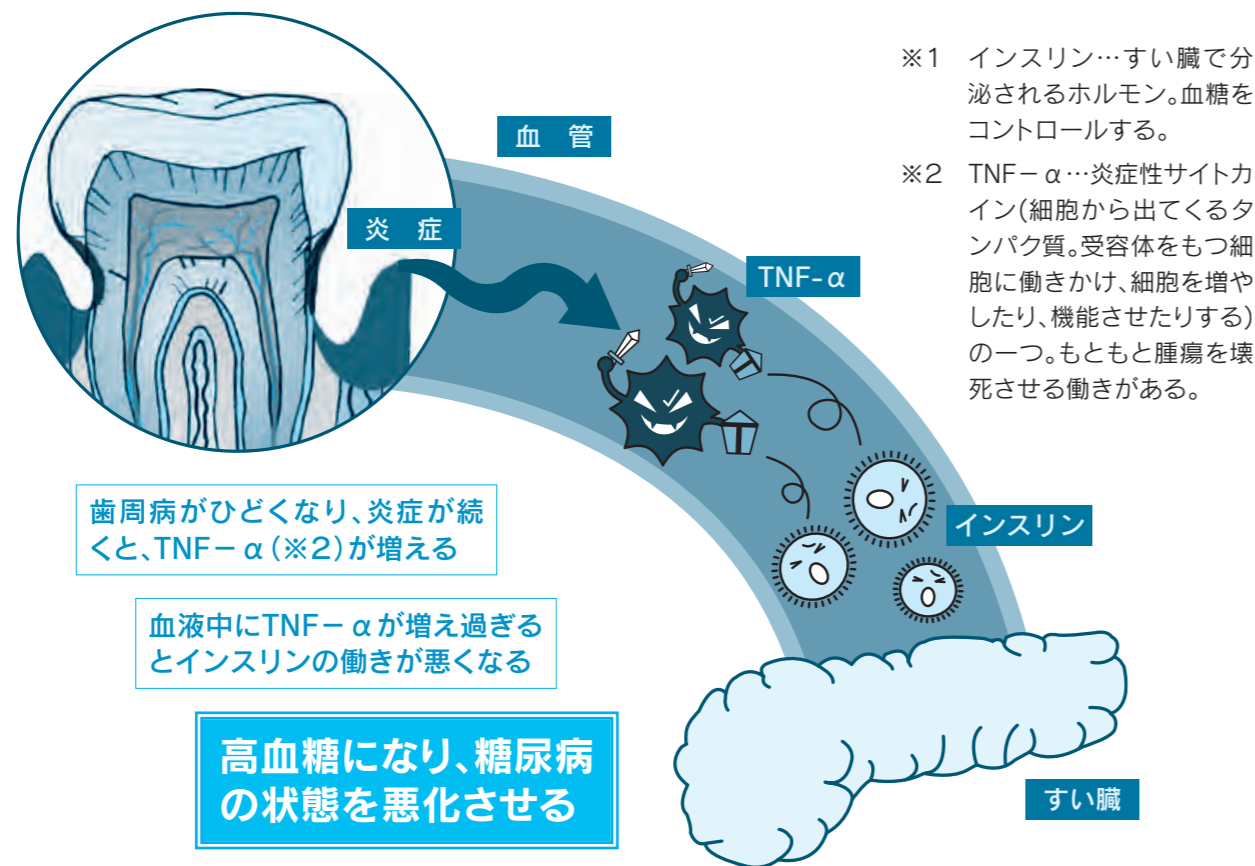


④ 歯周病が糖尿病を引き起こしたり、悪化させることもあります

歯周病は、網膜症や神経障害などに次いで6番目の糖尿病合併症と言われています。歯周病がひどくなると、炎症によって出てくる物質が、インスリン(※1)の血糖値をコントロールする働きを妨げて、糖尿病の

状態を悪くすると言われています。(下図参照)

歯周病や糖尿病の予防には、ブラッシングや適度な運動などの生活習慣の改善と、歯科医・内科医の専門的な検査、指導が必要です。



お口の検診を受けましょう

～歯周疾患検診と妊婦歯科健診のお知らせ～

歯周疾患検診および妊婦歯科健診を市内の委託歯科医院にて無料で行なっています。歯周病の予防には、専門家による定期的なチェックが必要です。この機会にぜひ受診しましょう。



●対象者および検診期間

- 歯周疾患検診(実施期間 6月1日～12月末)
対象者 平成22年4月1日現在35・40・50・60・65歳の人(事前に個別通知済み)
- 妊婦歯科健診(実施期間 通年)
対象者 妊婦(母子健康手帳発行時に受診券を交付しています。)

●実施場所 市内指定医療機関

※事前に医療機関への電話予約が必要です。

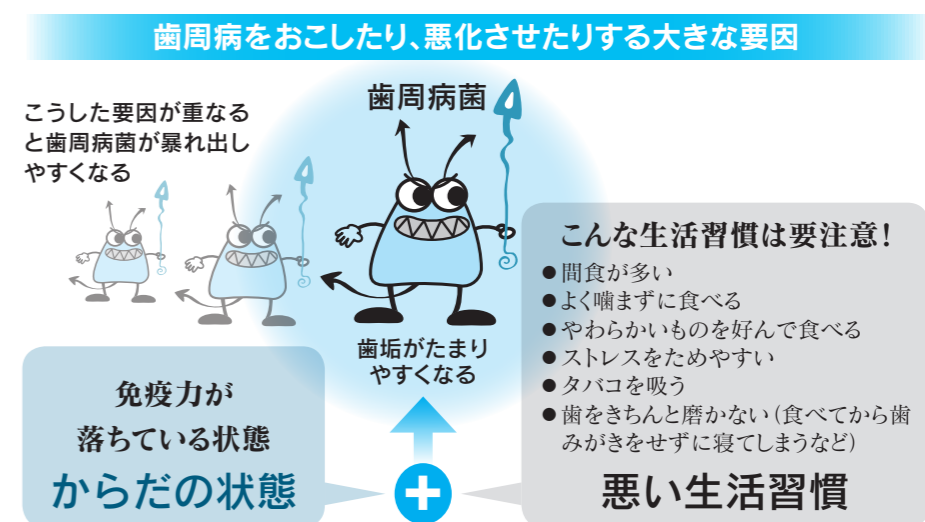
- 検診内容 お口の健康チェック、歯肉検査、ブラッシング指導
- 料金 無料 ※治療が必要な場合や歯石除去を希望される場合は、保険診療になります。
- 持参するもの 歯周疾患検診…事前に通知したハガキ
妊婦歯科健診…母子健康手帳、受診券(紫色)

歯周病と糖尿病

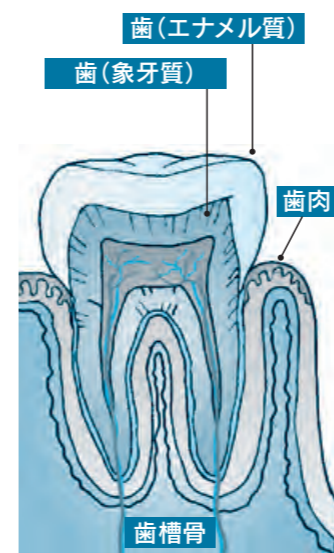
① 歯周病の原因は歯周病菌ですが、それを暴れさせるのは悪い生活習慣です

歯周病の直接の原因は歯周病菌ですが、歯周病菌のすみかとなる歯垢をためやすい悪い生活習慣(環境因子)にも注意が必要です。

また、健康状態が悪く、抵抗力(免疫力)が落ちていると、歯周病菌が暴れ出しやすくなります。



② 健康な歯周組織



健康な歯ぐきはピンク色で引締まっています。見た目はきれいでも、痛みなどの自覚症状がなくても気づかないうちに進行する場合も多いので、定期的な専門家によるチェックが必要です。

③ 歯周病の歯周組織



日ごろの歯みがきのみが残り、プラーク(細菌の塊でネバネバしています)に変化します。プラークの中の細菌が毒素を出すので、歯ぐきの炎症が起き、歯周ポケットが少しずつ深くなります。歯ぐきから出血したり、膿が出ることもあります。また、歯槽骨が溶け始めます。

●母子健康手帳の交付

保健師が、妊婦さんの体調などを聞きながら母子健康手帳の使い方や妊婦健康診査について説明を行います。

とき 平日の午前8時30分～午後5時

ところ 健康づくり推進課(西合志庁舎)

※健康育児相談でも交付しています。日時などは31ページのお知らせカレンダー、健康づくり事業計画表をご覧ください。

持参する物 印かん、医療機関から発行された妊娠届出書



●熊本県小児救急電話相談事業

相談時間
毎日・夜間 午後7時から午前0時
☎#8000
(ただし、ダイヤル回線・IP電話・光電話からは☎364-9999)